

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事業の実績及び効果【令和3年度】

No.	事業名	担当課	事業概要	実績額	実施期間		事業の実績及び効果
					事業開始	事業完了	
1	乗合バス感染症拡大防止対策事業	地域安全課	市内乗合バスに抗菌・抗ウイルス加工を施すとともに、高性能空気清浄機及び空気清浄モニターを設置してバス利用時の新型コロナウイルス感染症の感染を防止する。	1,354,468	R3.7.6	R4.3.15	乗合バス車両7台全てにおいて、抗菌・抗ウイルス加工を施すとともに、高性能空気清浄機及び空気清浄モニターを設置してバス利用者の安心感を確保することができた。 R2バス利用者実績(全体):27,287人 R3バス利用者実績(全体):28,349人
2	介護予防動画作成事業	介護高齢課 (元気長寿課)	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、高齢者の集まりの場などに外出する機会が減り、体力低下が気になる今、家で気軽に取り組める介護予防・健康づくりをYouTubeチャンネルに掲載する。撮影、編集までを専門業者に委託する。	253,000	R3.11.1	R4.3.31	動画の作成、YouTubeチャンネルへの掲載により、感染拡大防止のため高齢者の集まりの場などが休止になっても、自宅で気軽に介護予防・健康づくりに取り組める環境づくりにつなげることができた。
3	ひとり暮らし高齢者等熱中症予防物品支給事業	介護高齢課 (介護保険課)	新型コロナウイルス感染症の影響により自宅で過ごす時間が長くなっているが、夏場の高温、多湿の環境下において、体温調節機能が低下してくる高齢者は特に熱中症となるリスクが高まるため、安全に自宅での生活時間を過ごすことができるよう熱中症予防物品の配付を行う。	6,413,617	R3.7.15	R3.9.30	ひとり暮らしの高齢者等を対象に、温湿度計・冷却タオル・粉末タイプの麦茶スティックを配付し、コロナ禍における熱中症リスクの低減を図ることができた。 配付人数2,471人(内訳:ひとり暮らし高齢者2,331人、高齢者世帯70世帯140人) 温湿度計602個、冷却タオル4,972枚、麦茶スティック2,471セット(30本入り)
4	PCR検査委託事業	子ども課	児童福祉施設での新型コロナウイルス感染症陽性者発生に伴い、保健所の調査により接触者と認定されなかった職員及び園児に対して市が自主検査を実施することにより、保健所で拾いきれない範囲まで検査を実施し、感染拡大を未然に防ぐ。	1,136,993	R3.6.3	R3.6.21	公立保育所において、新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生したため、園児及び職員を合わせて計46名のPCR検査を実施した。 結果として、受検者全員の陰性が確認できたため、早期に保育業務を再開することができた。
5	学校体育館換気対策事業	学校教育課	①市内小中学校体育館に強力工場扇を設置し、館内の風通しをよくすることで換気効果を向上させ、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抑える。 ②③ ◆強力工場扇 (小学校)11校×30,000円×1.1×4ヵ所 (中学校)5校×30,000円×1.1×4ヵ所 ④市内小中学校	2,112,000	R3.9.13	R3.9.30	各学校の体育館に各4台導入し、体育の授業や校内の催し物等での使用時に活用した。人が集まる場所での感染予防には、換気が重要であることから、館内の窓を開けながら工場扇を使うことで、空気を循環させることができるので、効率的に感染症予防対策を講じることができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事業の実績及び効果【令和3年度】

No.	事業名	担当課	事業概要	実績額	実施期間		事業の実績及び効果
					事業開始	事業完了	
6	教育施設サーマルカメラ設置事業	学校教育課	教育施設の入口に体温計測のためのサーマルカメラを設置し、施設内での感染防止を図るとともに、体調管理のツールとして活用することで感染予防に対する意識の向上を図る。	3,009,600	R3.9.10	R3.10.6	主に体育館や校舎の玄関にサーマルカメラを設置し、児童生徒及び学校来客者等の体温測定に活用している。計測を促す案内看板の設置や、計測の結果、熱が高い場合は、入室を控えてもらうなど、感染拡大を事前に予防する措置を講じることができた。
7	特別教室等アクリルボード設置事業	学校教育課	児童生徒が対面形式の授業を行う特別教室における新型コロナウイルス感染症の感染防止を図る。	1,920,000	R3.9.13	R3.9.17	対面形式での授業となる理科や家庭科、図書室などの特別教室用として、学校規模に応じ不足している分を整備した。マスク着用の上で、アクリルボードを設置することで、飛沫を防止することができるため、児童生徒が安心して授業に臨める環境を整えた。
8	小中学生熱中症予防物品支給事業	健康づくり課	新型コロナウイルス感染症対策として有効とされるマスク着用は、夏場の高温や多湿の環境下では熱中症のリスクが高くなるため、マスク着用による感染予防を継続しつつも熱中症対策を行えるよう、市内小中学校の児童生徒に冷却タオルを配付する。	2,676,960	R3.7.13	R3.8.5	マスク着用による熱中症対策として気化熱冷却性能に優れた冷却タオルを小中学校16校及び特別支援学校、市外に通う小中学生に4,680枚配布することにより、熱中症を予防すると同時に、マスク着用による新型コロナウイルス感染対策の継続につながった。
9	小規模事業者持続化補助金申請支援事業	商工観光課	新型コロナウイルスの影響で業績が落ち込んでいる小規模事業者の支援策として、国が実施する「小規模事業者持続化補助金」の利用を促進するためのセミナーや申請書類等の作成支援を行う。	517,000	R3.9.6	R4.2.21	小規模事業者持続化補助金(低感染リスク型ビジネス枠)の申請を希望する事業者を支援するため、群馬県中小企業診断士協会に申請支援業務を委託。申請支援セミナー参加者:2名 個別支援:3名(9回) セミナーや申請書類等の作成支援を行い、持続化補助金の申請促進に繋げることができた。
10	藤岡総合運動公園トイレ洋式化事業	都市施設課	体育施設における新型コロナウイルス感染症対策として、公園内の和式トイレを蓋付きの洋式トイレに改修して水を流す際の飛沫の拡散を防ぐ。	6,721,000	R3.11.9	R4.3.23	藤岡総合運動公園内において、市民球場内トイレ3基、陸上競技場南側トイレ3基、弓道場内トイレ3基、弓道場東側屋外トイレ5基、計14基を蓋付きの洋式トイレに改修した。施設内における利用者の感染リスクを低減させることができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事業の実績及び効果【令和3年度】

No.	事業名	担当課	事業概要	実績額	実施期間		事業の実績及び効果
					事業開始	事業完了	
11	総合学習センター換気対策事業	生涯学習課	教育施設における新型コロナウイルス感染症対策として、グリーンネットや網戸を設置し、施設利用時に十分な換気が行えるよう整備を行う。	896,500	R3.9.17	R3.12.14	学習施設に網戸の設置、体育施設にグリーンネットの設置により十分な換気を行うことが可能となり、生涯学習や市民活動の場として利用している利用者に対して感染リスクを低減させることができ、感染防止対策の強化を図れた。また、防災拠点としての機能強化にも繋がった。
12	総合学習センター体育館トイレ改修事業	生涯学習課	教育施設における新型コロナウイルス感染症対策として、総合学習センター内の和式トイレを蓋付きの洋式トイレに改修して水を流す際の飛沫の拡散を防ぐ。また、床は乾式としウイルスが繁殖しにくい環境を整えることで、新型コロナウイルス感染症の感染を防止する。	2,816,000	R3.10.18	R4.2.17	総合学習センター体育館内のトイレ2基(男女トイレ各1基)を蓋付きの洋式トイレに改修したことにより、飛沫拡散防止に繋がりを、また、床も乾式に改修したことにより、ウイルスが繁殖しにくい環境を整えることができ、施設内における感染リスクを低減させ、感染防止対策の強化を図れた。
13	鬼石多目的ホール換気対策事業	生涯学習課	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、体育館に気化式涼風機を2台導入することで、空気の循環を改善し効果的に換気を行う。同時に夏場の高温・多湿の環境下での熱中症予防に繋げる。	1,094,500	R3.9.9	R3.10.11	鬼石多目的ホールのホール1(体育施設)に気化式冷風機を2台設置したことにより、十分な空気の循環と換気を行うことができ、利用者に対して感染リスクを低減させることができた。また、5月から11月までの晴れの日には、施設内が高温になりやすいため、熱中症予防にも繋がった。
14	公共施設サーマルカメラ設置事業(増台)	健康づくり課	公共施設における新型コロナウイルス感染防止対策として、施設の入口にサーマルカメラを設置し、施設内での感染防止を図るとともに、体調管理のツールとして活用することで感染予防に対する意識の向上を図る。	3,328,600	R3.9.10	R3.9.17	不特定多数の市民が出入りする公共施設にタブレット型サーマルカメラを20台設置することにより、施設内での感染防止を図ることに加え、感染予防意識の向上を図り、新型コロナウイルス感染症対策に役立てた。
15	庁舎内議会配信システム導入事業	総務課 (行革・デジタル推進課)	現在、議会開会中は中庁舎3階会議室に集まって議会の傍聴しているが、庁内ネットワークを利用して配信することで、自席において議会傍聴が可能となることから、密集回避による新型コロナウイルス感染症の拡大防止につなげる。	1,760,000	R3.11.12	R3.12.24	議会開会中は中庁舎3階会議室に集まって議会の傍聴していたが、庁内ネットワークを利用して配信することで、自席において議会傍聴が可能となり、密集を回避することができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事業の実績及び効果【令和3年度】

No.	事業名	担当課	事業概要	実績額	実施期間		事業の実績及び効果
					事業開始	事業完了	
16	藤岡市事業者継続支援金支給事業	商工観光課	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年8月1日から9月30日の間の売上高について、前年又は前々年同期比で20%以上減少している月が1箇月以上ある市内事業者で支給要件に該当する者に対して、支援金を給付することにより支援する。	34,400,000	R3.10.1	R4.3.10	対象事業者に一律5万円の支援金を支給するものであり、建設業、製造業、卸売業、宿泊飲食業、生活関連サービス事業など、生活に密着した業種を中心に全688件の支給を行った。感謝の言葉も多く寄せられ、事業者支援として大きな効果があった。
17	家庭内感染対策物品支給事業	健康づくり課	ワクチンを接種することができない、また、ワクチンを接種することに特に大きな不安がある子どもたちがいる家庭を対象に、感染予防物品を配付し、家庭内での感染防止を図る。	6,513,705	R3.12.6	R3.12.21	新型コロナウイルス感染症の家庭内感染予防のために、保育園や幼稚園、こども園、小中学校に通う子どもがいる家庭を対象に、家庭内感染予防物品を6,700セット配布することにより、ワクチンを接種することができない、または、ワクチンを接種することに特に大きな不安がある子どもがいる家庭の感染予防に役立てた。
18	学校保健特別対策事業補助金	学校教育課	新型コロナウイルス感染症の感染リスクを最小限にしながら円滑な教育活動を実施するため、学校における感染対策、児童・生徒の学びを保障する環境整備を促進する。	2,151,083	R3.9.21	R4.3.8	国の学校保健特別対策事業費補助金を活用して学校における感染症対策のため、フェイスガードと汚物処理セットを配布した。また、学校毎に感染症予防対策を実施するために必要としている物品を購入した。本事業により、学校のニーズに応じた物品を導入し、感染症対策を講じたことで児童生徒の学びを保障した教育活動を実施できた。
19	修学旅行中止に伴うキャンセル料等支援事業	学校教育課	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった修学旅行について、保護者の経済的な負担を軽減するため、中止により生じたキャンセル料等を負担する	1,735,662	R3.11.26	R3.12.7	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった市内中学校における修学旅行のキャンセル料について、その全額を市が負担することで保護者の経済的な負担を軽減することができた。
20	空気清浄機配布事業	地域づくり課	徐々に社会経済活動が再開する中での新型コロナウイルス感染再拡大を未然に防ぐため、地区公会堂等の地域拠点施設に空気清浄機を設置し、施設内での感染防止を図る。	19,012,400	R4.2.2	R4.2.24	地区公会堂等の地域拠点施設に空気清浄機(空気洗浄機使用:空気洗浄適用46畳、プラズマクラスター適用23畳)を1施設につき1台設置し、施設内における感染リスクを低減させることができた。 ・配付施設数:149施設(生涯学習課所有4施設、建築課所有2施設含) ・金額(1台):127,600円(税込)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事業の実績及び効果【令和3年度】

No.	事業名	担当課	事業概要	実績額	実施期間		事業の実績及び効果
					事業開始	事業完了	
21	公共施設等の情報環境整備事業(Wi-Fi整備事業)	総務課 (行革・デジタル推進課)	市内の公共施設について、ICTインフラの中でも災害に強く、地域活性化のツールとしても有効な公衆無線LAN(Wi-Fi)に接続できる環境を整備し、防災、市民生活、観光面などで効果的に情報を受発信できる機会を創出するとともに三密回避に対応し新型コロナウイルス感染再拡大を防ぐ。	4,202,000	R4.2.24	R4.3.31	市民体育館に3台、市民球場、総合運動公園南トイレ、桜山公園管理棟、および休憩棟、体験学習館MAGIにそれぞれ1台、合計8台のWi-Fiアクセスポイントを6施設に設置し、リモート環境による三密回避を行うとともに、アフターコロナの情報発信に利用できる環境が整備できた。
22	介護老人保健施設支援事業	老人保健施設鬼石	新型コロナウイルス感染症の影響により、通所規模を縮小したことに伴う収益減のうち、一定額を支援金として繰り出し、事業継続を支援する。	8,000,000	R4.3.10	R4.3.31	居宅介護サービス事業(通所リハビリテーション)の規模縮小により生じた影響額のうち一定額を一般会計から支援したことで、その後の安定的な運営体制を確保することができた。 居宅介護サービス事業歳入予定額 41,885千円 居宅介護サービス事業歳入決算額 28,606千円 歳入不足額13,279千円(R3支援金額8,000千円)
23	指定管理施設運営安定化支援事業	健康づくり課	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少するなど厳しい経営状況が続く中で、感染予防対策に配慮しながら市民サービスの維持を図るために管理運営業務を継続している指定管理者を支援する コロナウイルスの影響により生じた負担額の9割(上限1,000万円)を今後の管理運営業務に要する費用として支援する。	16,078,000	R4.3.7	R4.3.31	市民サービスの維持を図るために、感染予防対策に配慮しながら管理運営業務を継続している指定管理者に対して、約1,600万円を支援することにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が管理運営業務に与えた影響を緩和した。
24	国民健康保険鬼石病院支援事業	健康づくり課 (鬼石病院)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による受診控えや感染対策のために生じた新たな経費により、経営面において影響を受けている市立病院事業会計に対して繰出しを行い、事業継続を支援することでコロナ禍における安定的な医療提供体制を確保する。	5,000,000	R4.2.28	R4.3.31	新型コロナウイルス感染症の疑い患者に対し実施する抗原検査機器の導入補助により135件の検査を実施した。また、受診控えによる令和元年度に対する外来収益減少見込み額の補填により、減収分を支援したことで安定した医療提供の継続に寄与できた。 令和3年度 病院事業収益 1,274,105千円 病院事業費用 1,272,156千円 純損益 1,949千円
25	ららん藤岡感染症対策支援事業	商工観光課	全国から多くの来場者が集う道の駅「ららん藤岡」について、施設の規模や来場者数等に応じた適切な新型コロナウイルス感染症対策及び安定的な事業運営が継続できるよう、前年度の感染症対策のために要した経費のうち、一定額を協力金として支出する。	2,000,000	R4.2.25	R4.3.25	本市を代表する集客施設であるららん藤岡について、収入が激減する各テナントへの支援金や感染症対策に係わる費用の一部を協力金として、(株)クロスパークへ支出することで、事業運営の安定化を図ることができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事業の実績及び効果【令和3年度】

No.	事業名	担当課	事業概要	実績額	実施期間		事業の実績及び効果
					事業開始	事業完了	
26	感染予防物品備蓄事業	健康づくり課	新型コロナウイルス感染拡大の波に備え、消毒液やフェイスシールド、ビニール袋などの感染予防物品を備蓄する。	559,750	R4.3.10	R4.3.25	一斗缶入り消毒液50缶、ニトリルグローブ20,000枚、フェイスガード500枚を備蓄することにより、新型コロナウイルス感染拡大時に備えた。
27	子育て世帯臨時特別支援拡充事業	子ども課	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた子育て世帯を支援するための臨時特別給付金について、未来を切り開いていく子供を育てる世帯に対し、平等に支援する必要があるため、所得制限により支給対象外となった子育て世帯に対して給付範囲を拡大することは、合理的な範囲内の給付であるため、国と同額の給付を行う。	33,934,867	R4.1.11	R4.4.28	国の給付金である「令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金」では対象外であった児童手当特例給付相当(所得超過)の世帯に対し、拡充給付を行った。 ・令和3年9月分の児童手当(特例給付)支給対象児童216人 ・令和3年9月30日時点で高校生(H15.4.2~H18.4.1生)の児童114人 ・新生児(R4.4.1生)2人 合計332人
28	みかぼみらい館感染防止対策事業	地域づくり課	文化施設として多くのイベント等が実施されるみかぼみらい館について、新型コロナウイルス感染防止対策の強化を図るため、サーモセンサー等の感染対策備品を整備する。	619,740	R4.3.4	R4.3.15	体表面温度が測定できるサーマルカメラを計3台購入し、文化施設ホール入口、プラネタリウム、レストランに設置。施設内での感染防止を図るとともに、検温及び手指消毒作業を円滑にし、スムーズな入場ができています。
29	緊急避難所音響設備導入事業	地域安全課	新型コロナウイルス感染症への対応として、避難所においてソーシャルディスタンスを確保しつつ情報発信等を行うため、緊急避難所となる防災公園に音響設備機器を購入する。	1,430,000	R4.3.7	R4.3.23	音響設備機器を購入し、緊急避難場所となる防災公園において、感染症対策を取りながら情報発信を行う体制を整えることができた。
30	新型コロナウイルス自宅療養者等支援事業	健康づくり課	新型コロナウイルス感染症に感染して自宅療養となった者や濃厚接触者として自宅待機を要する者を対象に、食料品等の生活に必要な物品を配送し、待機期間中の療養生活を支援する。	695,478	R4.3.24	R4.3.31	新型コロナウイルス感染症による自宅療養者に対して、食料品等の支援物資を3月31日時点で累計57セット配布し、療養生活を支援している。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事業の実績及び効果【令和3年度】

No.	事業名	担当課	事業概要	実績額	実施期間		事業の実績及び効果
					事業開始	事業完了	
31	フードバンク機器整備事業	福祉課	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、生活困窮世帯に対して食糧支援を行うフードバンク事業の拡充を図るため、寄附の提供として多い米を長期保存するための機器を整備する。	190,300	R4.3.8	R4.3.23	フードバンクに低温貯蔵庫を設置したことにより、米の品質を落とさず長期間の保管が可能となった。より多くの米を取り扱うことができ、困窮世帯へトルト食品以外に主食となる米を、安定的に配給できるようになった。
32	高齢者施設感染症対策物品配布事業	介護高齢課 (介護保険課)	新型コロナウイルス感染症のクラスター発生を防ぐため、市内の入所系高齢者施設へプラスチックエプロンを配布する。	726,000	R4.3.11	R4.3.25	防護服(プラスチックエプロン)を、クラスターの発生リスクが高い市内の入所系高齢者施設53箇所へ配布し、施設内でのクラスターの発生を抑制することができた。
33	保育所空間除菌設備整備事業	子ども課	コロナ禍においても園児の健康・安全を維持し、社会インフラとして保育を安定供給するため、各保育室にウイルス除去、除菌、アレルゲン抑制が可能となる低濃度オゾン発生装置を整備する。	814,000	R4.3.7	R4.3.10	0・1歳児から5歳児までの5クラス全てに1台ずつ、計5台の低濃度オゾン発生装置を配置することで、園児や職員への感染リスクを低減し、保育体制を維持できた。
34	乳幼児健診等感染対策事業	子ども課	乳幼児の発達発育を確認するとともに、保護者の育児への不安に対する相談や継続的な支援を行う各種の乳幼児健診について、新型コロナウイルスの感染リスクを可能な限り低減して安全に実施できるよう、必要物品の整備を行う。	2,453,000	R4.3.11	R4.3.18	乳幼児健診で使用するベビーベッドと布団(抗菌・抗ウイルス加工)、健診時の空気清浄をするための空気清浄機付きファンヒーター・扇風機、健診時や保健センター事業で使用する抗ウイルス布地を使用した椅子とその台車を購入。感染予防を徹底し、安心して健診等事業を受けていただくことができています。
35	プレミアム付き商品券販売事業	商工観光課	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ消費の回復及び地域経済の復興を目的にプレミアム付き商品券を発行する。	139,975,473	R4.3.2	R4.11.22	使用期間:令和4年5月21日～令和4年10月31日 商品券額面:1,000円、1セット13枚綴り(13,000円)を10,000円で販売 参加店:380店(藤岡329店、鬼石51店) 商品券回収額:516,009,000円 一般販売分 396,930,000円 プレミアム分 119,079,000円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事業の実績及び効果【令和3年度】

No.	事業名	担当課	事業概要	実績額	実施期間		事業の実績及び効果
					事業開始	事業完了	
36	農業者向け燃油高騰対策事業	農政課	新型コロナウイルスの影響に加え、燃油価格高騰により大きな影響を受けている農業者を支援するため、燃油価格が一定の基準を超えた場合の購入費の一部を助成する。	7,882,900	R4.2.25	R4.4.15	市内施設園芸農家107件に、経営安定を図るため、購入したA重油等の数量に、1Lにつき10円を乗じた額を補助したことで、農業経営の圧迫を緩和させることができた。
37	桜山公園電動車椅子導入事業	にぎわい観光課	冬桜の名所として市内でも有数の観光施設となっている「桜山公園」について、高齢者や障害者であっても、三密避けて単独で公園内を散策できるよう電動車椅子を導入する。	946,400	R4.1.11	R4.8.31	電動車椅子を導入したことで高齢者や障害者の方も自由に単独で三密を避けて公園内を散策できるようになった。
38	自転車観光推進事業	にぎわい観光課	コロナ禍における観光スタイルの環境整備として、レンタルサイクルを導入し、三密を避けて観光地を周遊する新たな観光ビジネスの展開を図る。	1,060,000	R4.1.11	R4.7.29	クロスバイク(レンタサイクル)を導入したことで、自然の豊かさを感じながら観光地を周遊できる新たな観光ビジネスの展開が図れた。

※担当課名は事業実施時点の表記となっておりますが、()内に本表掲載時点での担当課名を記載しています。